

# 教科「芸術」

## 科目「書道Ⅱ」

(3年次文型)

単位数	1単位
担当者	森谷 美和
教科書	自作テキスト
副教材等	学習プリント、作品手本等

### 【1】科目の目標

- ・書道における創造的な活動を通して、書を愛好する心情を育てる。
- ・書を楽しむ態度を通して感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深める。
- ・上記の学習を通して、個性豊かな表現の能力と書の美しさを感じ取る鑑賞の能力を伸ばす。

### 【2】科目の内容と進め方

1学期：漢字の書の臨書（楷書・行書）、2学期：漢字の書の臨書（草書・隸書・篆書）、漢字仮名交じりの書の創作 3学期：仮名の書の臨書

### 【3】学習形態

書道室で授業を行う。作品の制作を行いながら、作品の背景について一斉、グループで学習を行う。

### 【4】学習上の留意点

「漢字の書・仮名の書」では、まず作品を見ること。自らの感性に基づき、対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かうこと。また、得られた感想は何に由来するのか、用具・用材、構成、また作者や時代背景といった様々な要素について考えて分析すること。「漢字仮名交じりの書」では、『今自分は何を表現したいのか』を第一に考え、詩文や用具・用材などを積極的に選択すること。

### 【5】評価の方法と評価の観点

#### ① 評価の観点

- 1 書への関心・意欲・態度：書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組めたか。
- 2 書表現の構想と工夫：書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫できたか。
- 3 創造的な書表現の技能：創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけ、表現しているか。
- 4 鑑賞の能力：日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを味わえたか。

#### ② 評価の方法

- ・授業での学習活動の様子、作品への取り組み状況から、主体的に学習しようとする態度を評価する。
- ・毎時間評価シートで学習の振り返りを行うことで、次時への取り組みにつなげられるかを評価する。
- ・作品の添削を通して、技能を身につけられたかを評価する。

### 【6】その他

なし